

令和元年度全国及び岡山県学力・学習状況調査 結果と今後の取組について【学校版：様式】

1 津山市重点取組

津山市立佐良山小学校

津山市重点課題	誰が(Who)	何を(What)	いつまでに(When)	どのように(How)	達成される児童・生徒像(数値目標)
学びのサイクル(津山モデル) 授業改善と家庭学習をつなぐ つまづき解消	○全職員	①読解力・語彙力の向上 ②基礎基本の徹底 ③児童が考え、表現する授業づくり	年度末	①ことばのきまりワークと読解ドリルの取組を継続し、朝学習で全学級徹底して行う。 ②全学年、算数を年間10時間以上乗せし、学力調査の結果から課題となる内容に計画的に取り組む。4～6年生は、佐良山タイムで、年間10時間、習熟度別3コースに分かれて、問題データベース等を活用した補充学習を行う。家庭学習でも、補充問題に取り組ませる。 ③話し合いを活性化する手立て、主体的な学習に導くふりかえりの方について研修を深め、授業改善を図る。	アンケートで「授業がわかりやすい。」と答える児童の割合が85%以上になる。
生活習慣の改善 スマホ対策と家庭学習の充実 (児童会・生徒会や家庭等)	○全職員 ○保護者	①メディアコントロールによる家庭学習時間の確保 ②宿題・自主学習の徹底 ③家庭学習の質の向上	年度末	①PTA及び中学校ブロックと連携して、メディアコントロール週間を毎学期1回行う。メディアコントロール週間の結果を家庭にも知らせ、児童・保護者の意識高揚を図る。 ②メディアコントロール週間に合わせて宿題ばっちり週間、読書週間を設定し、宿題や自主学習、読書を一定時間以上行う習慣をつける。 ③自主学習No.1の玄関掲示・全校集会での紹介・表彰を行うとともに、自主学習のすすめを配布し、児童・保護者への啓発を行う。	家庭学習(宿題+自主学習+読書)を1日あたり(10×学年+10)分以上する児童の割合が70%以上になる。

2 全国及び岡山県学力・学習状況調査 結果及び成果と課題

調査結果について(調査結果において明らかになったこと)

【学力状況調査の結果】	【学習状況調査の結果】
<p>全国(6年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国語は、全国平均を上回り、特に記述式の問題の正答率が全国平均より高い傾向にあるが、言語の知識・理解・技能で正答率の低い問題もある。 ・話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめると、81%(全国68.2%)・漢字を文の中で正しく使う(カンシンをもって…)：71%(全国35.6%) ○算数は、全国平均並みであるが、記述式の問題の正答率が低い傾向にある。 ・棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ることができる：100%(全国95.2%) ・資料の特徴や傾向を関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述できる：35.7%(全国52.1%) <p>県(3年～5年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国語：3年・4年は全国平均と比べると正答率が高く、5年は全国平均と同程度である。 ・3年「説明文の読解」67.4%(全国56.1%)・4年「物語の読解」90%(全国75.8%)・5年「ポスターを作る」82.8%(全国59.2%) ・3年は「読み取った内容を表にまとめる」、4年は「文の構成(主語と述語)について理解」「2段落構成で文章を書く」に課題があった。 ○算数：5年は全国平均と比べると正答率が高く、3年・4年は全国平均を下回っている。 ・3年は「数と計算」は正答率が高いが、「もとの大きさの1/4の大きさの意味を理解」「基準となるテープの3倍の長さのテープを選ぶ」に課題がある。 ・4年「余りを切り上げて処理する問題」ができて、その理由を説明「77.5%(全国64.9%)・5年「ひし形の作図」93.1%(全国71%)は特に正答率が高い。 ・3年「地図から読み取った2つの道のりについて、長さの大小の表し方を理解」、5年「10-1-9、78の計算」に課題が見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ①家庭学習の時間 平日、一日当たり1時間以上と回答した児童の割合は、6年88.4%(全国66.1%)、5年82.8%(県74.2%)とかなり高く、全国調査(6年)では平日の家庭学習時間が30分未満の児童は少ない。県調査(5年)では、学校の予習・復習をする児童の割合も高い。 ②スマホの使用時間(ゲーム・YouTube等) 県調査(5年)では、平日の使用時間が2時間以上と回答した児童の割合は24.1%(県13.9%)と高い。しかし、メディアコントロール週間には、家庭の協力が得られ、カードの提出率は全校児童の97%と関心は高くなっている。 ③自己肯定感 「自分には、よいところがある」と回答した児童は、6年81.4%(全国81.2%)、5年82.8%(県82.3%)と平均並である。 ④テレビ等の視聴時間 県調査(5年)では、平日の視聴時間が2時間以上と回答した児童の割合は58.6%(県47.6%)と高く、テレビ視聴時間が長い傾向にある。 ⑤読書時間 全国調査(6年)では、一日当たり1時間以上と回答した児童の割合は65.1%(全国39.8%)とかなり高い。 ⑥算数の調査問題の解答時間が十分だったと回答した児童の割合が76.7%(全国84%)と低く、問題を読み、解答を記述するのに時間がかかることが伺える。

成果	課題
<p>○国語は、平均正答率が全国平均より高く、思考力・表現力を問われる問題でも、正答率が高くなってきている。全学年、朝学習で読書や読解ドリル、ことばのきまりワークに取り組ませることで、読解力や語彙力がついてきた。低学年では、家庭学習等の継続的な取組により、漢字の読み書きが定着している。</p> <p>○算数は、家庭学習の徹底、朝学習、リビュー週間(全学年算数の授業時数年間10時間以上乗せ)、佐良山タイム(4～6年補充学習年間12時間)等の取組により、算数の基礎基本が定着し、「数と計算」領域の知識・技能が伸びた。また、昨年度課題があった「図形」領域にも改善の傾向が見られる。</p> <p>○校内研究で「ペア・グループ活動の充実」「意図的な振り返りの場の設定」に全職員で取り組み、表現力や記述力が伸びてきている。</p> <p>○年3回のノーメディア週間を設定し、家庭と連携して取り組むことで、家庭学習に関して家庭の理解・協力も得られ、平日1日当たり1時間以上の家庭学習をする児童の割合は昨年度に引き続き高い。また、自主学習の表彰を行うことで、家庭学習(宿題+自主学習)の習慣が定着し、さらに内容の充実も図られてきている。</p>	<p>○国語では、文の構成(主語・述語)、ローマ字、漢字等の言語事項に定着していないものがあった。また、「読み取った内容を表にまとめる」ことや「2段落構成で文章を書く」ことが難しく、文章の内容を的確に読み取って整理したり、文章の構成を考えて書いたりすることに課題がある。</p> <p>○算数では、長文を読み、示された情報や考えを解釈したり関連づけたらして記述する問題の平均正答率が低い傾向が続いている。文章を読み取る力や論理的に記述する力に課題があるので、国語で伸びてきた文章読解の力を他教科でも活かすことが必要である。</p> <p>○算数の解答時間が十分でなかった児童もいることから、一定の時間内に読み書きしたりする習慣をつけることが課題である。</p> <p>○総合的な学習や学活、委員会活動、縦割り班活動等でも児童が表現し、活躍できる機会を増やすことで、学習場面で身につけた思考力や表現力をさらに伸ばし、自己肯定感を高める必要がある。</p> <p>○スマホの使用時間、テレビ等の視聴時間が長い傾向がある。家庭学習の時間は確保できているが、睡眠時間が減っている児童もいる。引き続き、児童・家庭にメディアの利用の仕方や時間の有効な使い方について呼びかける必要がある。</p>

3 今後の取組

何を(改善すべきこと)	いつまでに(成果検証の期限)	どこまで(対象と達成目標の設定)	どのように(方策)	達成状況(12月末現在)	達成度	達成状況(年度末)	達成度	次年度への改善点・重点課題
児童が考え、表現する授業づくり	年度末	児童アンケートで「授業がわかりやすい。」と答える児童の割合が85%以上になる。	・ペア・グループ学習を通して、考えを記述し、表現したり、情報を解釈し、関連づけたらして活動を実施させる。 ・児童が自分の学んだ内容や方法を自覚し、主体的な学習につなげられるようふりかえりを工夫する。					
基礎基本の徹底	年度末	全国学力調査において、平均正答率が全国平均並みになる。	・ことばのきまりワークと読解ドリルの取組を継続し、朝学習で全学級徹底して行う。 ・算数リビュー、佐良山タイムで補充学習を行い、家庭学習でも復習させたり、定着度を確かめたりする。					
家庭学習の定着と充実 (津山西中学校区重点指導項目)	年度末	家庭学習を1日あたり(10×学年+10)分以上する児童の割合が70%以上になる。	・メディアコントロール週間に合わせて、宿題ばっちり、読書週間を設定し、児童の意欲喚起と家庭への協力依頼を行う。 ・「自主学習No.1」の表彰の取組を継続し、良い学習の仕方を示すとともに、児童の学習意欲向上を図る。					

※達成度 「S:目標を大きく上回った(100%超)」|「A:目標を十分達成できた(85%以上100%未満)」|「B:目標を概ね達成できた(70%以上85%未満)」|「C:目標をある程度達成できた(50%以上70%未満)」|「D:目標をあまり達成できなかった(30%以上50%未満)」|「E:目標を達成できなかった(30%未満)」

小中連携の取組	保護者・地域へ理解・協力を求めること
<p>○家庭学習(宿題)の100%提出をめざす</p> <p>○チャイム同時スタート・チャイム同時終了</p> <p>○授業の中に学び合いを</p> <p>○ことばづかい</p> <p>○きれいな教室</p> <p>佐良山小学校会い言葉(きょうもすてき)</p> <p>○きちんとよい</p> <p>○うめうめすてきたえあい</p> <p>○もしうちどふりかえり</p> <p>○すずんであいさつ</p> <p>○ていねいなことばづかい</p> <p>○きれいな教室・学校</p>	<p>○学級懇話等で家庭学習について話し合う機会を持ち、家庭に理解と協力を依頼するとともに、個人懇話等の機会を通して児童の課題について共有していく。</p> <p>○メディアコントロール・宿題ばっちり週間・読書週間を設定し、テレビ・ゲーム・インターネット等の適切な利用の仕方と家庭学習時間(10×学年+10)分の目標を示し、家庭学習時間の維持・学習内容の充実を呼びかける。</p> <p>○地域の方による読み聞かせ、教科・総合的な学習等における保護者や地域の方の専門性を活かした指導、地域の方と協力した地域学習・体験的学習の充実を図る。</p>